

会 議 録		令和7年7月10日作成	令和11年3月末日廃棄
会議名	京都府田辺警察署協議会（令和7年度第1回）		
開催日	令和7年7月9日（水曜日）		
時 間	午前10時から午前11時30分までの間（90分）		
場 所	京田辺市立社会福祉センター 第3研修室		
出席者	松井会長、垣内副会長、花木委員、藤ノ井委員、田中委員、北見委員、中川委員、 （欠席 今井委員、柳委員） 計7人		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、 交通課長、警備課長、広聴・相談係長 計10人		
諮 問 事 項	高齢者の交通事故防止対策について		
会 議 内 容	1 会長挨拶		司会 副署長
	2 署長挨拶		
会 議 内 容	3 協議		司会 会長
	<p>(1) 諮問事項説明</p> <p>高齢者の交通事故防止対策について～交通課長</p> <p>【委員】披露してもらった俊敏性を測定するゲームは、啓発行事では好評を得られると思う。</p> <p>【委員】井手町では高齢者の交通事故防止のため、高齢者を対象とした自動車急発進防止装置取付費用の補助事業を行っている。</p> <p>しかしながら、補助事業の予算執行が年間数台しか出来ていないという現状である。</p> <p>高齢者の皆さんは、自分は大丈夫と思われがちであること等が影響しているように思われる。</p> <p>井手町社会福祉協議会では町内の高齢者を対象として、IDECA（イデカ）という井手町内限定で自宅から目的地までドアツードアの送迎を行う有償サービスを行っている。</p> <p>町内の高齢者にこのサービスを利用してもらい、免許返納をしても生活が出来るということを体感してもらい、将来の免許返納につなげていきたい。</p> <p>その他、井手町には高齢者が集まる・集まれる飲食店がある。</p> <p>先ほど、交通安全モデル店舗の紹介があり、これらの場所を有効に活用し</p>		

てもらえたらと思う。また、多賀地区の住民の6割以上が利用するショッピングモールは、広報啓発で有効活用出来るのではないかと。

【委員】先ほど、高齢者の疑似体験ゴーグルを見せてもらったが、高齢者の視野は確かに狭いように思う。

高齢者に、道路標識がどれだけ見えているのだろうかと思う。そして、先ほどの警察側の説明で、自動車運転免許を持っておられない方で、交通安全にかかる教育を受ける機会がない方へ、その教育機会を作る方法が課題となっているとお話が有った。

そのような高齢者の方がつながっているのは福祉施設等ではないかと思う。病院やデイサービス等の場所で、交通安全啓発が出来れば良いのではないかと思った。

【委員】裏に住む高齢者夫婦は、以前は高齢者サークル等に参加されていたが、奥様が認知症となり、御主人も奥様を1人に出来なくなり行動範囲が狭くなったように思う。

このように、本人の意思等だけでなく、外の集まりに参加出来なくなる高齢者もあり、それらの方々に交通安全教育を受ける機会を作るには、工夫が必要だと思う。

【警察】当署ではコロナ禍で高齢者サロン等への交通機会が激減し、現在、社会福祉協議会の協力を得て、把握されている団体への交通安全教室の開催を勧奨している。

また、これまでは食事の宅配サービスの際に、交通安全の啓発資料等を配っていただいたこともある。

【委員】京田辺市役所では、公用車へのドライブレコーダーの設置を促進したことで、職員の安全運転への意識が高まった。

三山木地区や興戸地区で新たに防犯カメラを設置し、「防犯カメラ設置中」等の表示も行っているが、あまり視覚的に目立っていないように思う。

現在、その明示化について検討している。防犯カメラが設置されているとドライバーが意識すれば交通事故防止にもつながると考えている。

他府県では、狭い道路において、中央線表示を廃止したことで交通事故が減った事例があると聞いており、視覚に訴える交通安全対策も一案である。

【委員】私の住む地区でも、一部道路についてセンターラインを無くした方が交通事故防止につながると考え、住民意見として道路管理者に意見をした。

【委員】宇治田原町では、歩行者等を守るためにガードレールを新規設置したところ、道が狭くなり、そのガードレールに衝突して苦情が出たこともある。

しかし、道路が狭くなれば、走行速度は落ちるように思う。

【委員】錯覚を起こさせるのは有効だと思う。交通事故が多い交差点で、道路幅が狭くなるように感じられるペイント等出来れば有効ではないか。

また、信号機に防犯カメラ等設置して明示すれば、目立って安全運転につながるのではないかと。

【委員】高齢者は、運転免許を返納した後、交通手段が自転車に変わることがよく

会 議
内 容

ある。

高齢者が買い物に自転車に行くのにノーヘルを見掛けるので、ヘルメット着用について声を掛けようと思う。

私から警察にお願いしたいのは、交通取締りである。

朝、通勤のサラリーマンが急いで無理な運転をするのをよく見るので、それらの交通取締りをしてほしい。

また、私は防犯推進委員をしているが、地域で高齢者対象で、特殊詐欺被害防止の講演を警察にさせていただいている。

時間に限りはあるかもしれないが、併せて交通事故防止の講演等してもらえば良いのではないか。

【警察】 井手町の高齢者を対象とした自動車急発進防止装置取付費用の補助事業について、更なる周知が必要であれば、警察でも広報に協力をするのでお知らせいただきたい。

また、自転車の交通違反取締りについては強化してきており、ヘルメット着用促進に向けた取締り等も対応している。

そのほか、高齢者に加齢に伴う身体機能の低下等について自覚させる交通安全啓発や教育も推進していく。

(2) その他

【委員】 今日のお話を聞き、大学生等が交通事故の加害者にならないか心配になった。

小学生等は学校で交通安全教育を受けるが、大学生に同じようにするのは難しいように思った。

【警察】 当署では、大学の入学式のオリエンテーションで防犯や交通安全のお話はさせていただいているが、時間は限定的なものである。

京都市内の大学では、特定小型原動機付自転車の実車走行体験も含めた交通安全教室等もこれまで開催してきた。当署でも対応しているので、是非、そのような機会をいただければと思う。

4 事務連絡

令和7年度第2回京都府田辺警察署協議会は、令和7年9月下旬頃に実施予定である。

以上

第1回京都府田辺警察署協議会の開催状況

